

## ATGG の Photo World No.2

好い季節になりました。あちらこちら巡り歩くのに最適な時候です。最近歩いて撮った写真の中から数枚紹介しましょう。



まずはサクラ。これは4月15日、故郷香川県は琴平の、金比羅宮の表書院の庭で撮影したものです。ここのサクラは名前を「琴平桜」という、琴平原産の由緒ある品種なのですが、「琴平桜の原木が金比羅山の何処にあるのか判らない！」という状況になってたらし、地元の方々は困惑してたらしい。そこで小生、「一肌脱いだらるか」てな訳で、知り合いのサクラの専門家をお願いし、一緒に出掛けて行って謎の解明に成功したのです。この詳細はまた別の機会にでも……。八重咲きの里桜で、花の色は白、花が小さめな、可憐なサクラです。



続いては本命のチョウ。冬越ししたキタテハ(タテハチョウ科)です。これは3月30日、杉並区の善福寺川沿いを10数名の仲間とブラブラアルキしてた時に撮ったもの。越冬後ですから人間で言えばもう高齢者(後期?)、羽も少し古びてますね。でも全体的には元気いっぱい、この写真もなかなか撮らせてくれませんでした。なんだか、これ又後期高齢者の撮影者の生活を顧みさせる風情でもありましたぞー。



3枚目はトリちゃん。これも上記同様、善福寺川の畔で撮ったものです。サギの一種の「アオサギ」。大きな体で眼の縁の黒い模様と、赤いくちばしが特徴です。

このトリ、いつもこうやってその場に立ち尽くし、じっとしてるのですが、なに考えてるんだらうねえ。その辺に餌の魚が近寄るのを待ってんだらうか、それとも、過ごしてきた人生を振り返って反省してるんだらうか、考え出すと切りがないねえ。それとも、単に、眠い、だけかな？



最後に、これなーんだ？ カエルに決まってるじゃん。これ又アルキの最中に、港区の麻布十番駅の近くにある、十番稻荷神社で見つけたものです。このカエルはその昔、近所に大火事が起こった時、水をがぶ飲みしてプーッと噴き出して消火したんだそうです。今ではその念力を頼って、「若返る」、「財貨得る」、「家得る」、「無事帰る」、などの語呂合わせで人気を集めてるのだそう。

カエルを見ると思い出すのは恩師和気俊郎先生。懐かしい、ねえ。今後も歩いてカエルに出会ったら必ず撮影しておきましょう。

こんな所でNo.2はお終い。これからも、こんな感じで続けます。なにかご意見等ございましたら、下記アドレスへメールでどうぞ([haradah@rapid.ocn.ne.jp](mailto:haradah@rapid.ocn.ne.jp)) (2017年4月29日 大手前4回生 原田浩 記)